

平成24年度釜石市立釜石中学校 釜石市授業交流会 英語科 指導案

【自己課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ・1学年で習う単語の定着を図る。 ・各単元での重要表現の定着を図る。 			
1.実施日	11月9日(金)	2.授業者・学級	八幡 隼世 1年1組 男16名、女16名 計32名
3.教科名	英語科	4.題材名	PROGRAM8 Origami
5.題材の目標	<p>(1) できることを言えるようにする。</p> <p>(2) できることをたずねたり答えたりできるようにする。</p> <p>(3) どのようにするのかたずねたり答えたりできるようにしよう。</p>		
6.題材の評価規準	<p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ can や how がどのような働きをするのかに関心を持ち、それを理解しようと積極的に授業に取り組む。また、友達ができることやどのようにするのか聞こうとする。 <p>【外国語表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアワークやグループ活動で自分のできることが言えるようになる。また相手にたずねることができる。 <p>【外国語理解の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ can や how の意味が分かり、相手ができることやどのようにするのかなどを聞き取ることができる。 <p>【言語や文化についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ can を用いた文の文構造を理解している。 ・ how を用いた文の文構造を理解している。 		
7.題材の指導計画	<p>1 できることを言えるようにしよう 2時間</p> <p>2 できることをたずねたり答えたりできるようにしよう 2時間 (本時1/2)</p> <p>3 どのようにするのかたずねたり答えたりできるようにしよう 2時間</p>		
8.本時の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ can を用いた文を書いたり話したりできる (知識・理解) ・ canを用い、相手ができるスポーツ・楽器・料理や、相手が話すことができる言語について、アクティビティを利用して相手に「～できますか？」と積極的に聞こうとする。 (関心・意欲・態度) 		
9.本時と【自己課題】との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が、can を用いて相手に「～できますか？」と尋ねたり答えたりすることができるようにする。 ・ activity を通して英語を話し、単語の定着を図る 		

英語学習指導案

日時 平成 24 年 11 月 9 日 (金)

学級 1 年 1 組 (男 16 名 女 16 名)

授業者 八幡 隼世

自己課題

○単元を絞って取り組みたい目標
各単元で重要表現の定着を計る。

1 単元名 (教材名) PROGRAM8 Origami

2 本時の目標 相手に“～できる?”と尋ねられるようにしよう!!

3 本時の展開

	指導過程	生徒の活動	指導上の留意
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なあいさつを行う。 ・ピクチャーカードを使いながら既習事項の復習をしていく。 ・授業で使うプリントを配布し日付・天気等を記入させる。 ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言ったことに対し適切な声で答える。 ・本時の目標を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体にだけでなく個人にも問いかける。 ・全体に～できますかと尋ねる文は何と云うのか考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">相手に“～できる?”と尋ねられるようにしよう!!</div>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句・既習単語の確認 ・“おぼえよう”を何度も読む。 ・“聞いてみよう”でリスニングをする。 ・Can が用いられたいろいろな文の練習をし、activity で周りの人と質問し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句・既習単語を読み、それぞれの意味を理解する。 ・“おぼえよう”が何を言いたいのかを推測しながら繰り返し読み、質問の仕方と答え方を確認する。 ・Can が使われている疑問文を聞き取る。 ・Can を使って相手に何ができるか聞けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの意味を確認させる。 ・発音などに留意し音読させる。 ・ただ答えるだけでなくリピートさせる。 ・Activity の際はできるだけ日本語を使わないように机間巡視を行う。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・can を使った文の復習をする。 ・課題の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で習ったことの確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回習ったことの確認をさせる。